

市民ネットワークちば は
くまがいとしひと

5月26日は千葉市長選挙です

熊谷俊人さんを推薦します！



熊谷俊人さんプロフィール

1978年 2月18日生まれ
2001年 早稲田大学 政治経済学部 卒業
NTT コミュニケーションズ(株)入社
2006年 NPO 政策塾「一新塾」第18期生
2007年 千葉市議会議員選挙にて初当選
2009年 千葉市長選挙にて初当選
趣味：登山・詩吟・歴史・バドミントン・
テニス・卓球
千葉市稲毛区在住

市民自治の推進をめざして
熊谷市長が誕生してから、千葉市政には明るい兆しが見えてきました。過大な利用予測で計画されていたモノレール延伸は凍結になり、情報公開度ランキングは政令市ワースト1位(H20年)からナンバリー(H24年)になり、財政状況もわずかながら好転しています。市長自ら施策の説明会を行うなど、市民との直接対話を大切にする姿勢を貫いています。この4年の流れを継続させるため、市民ネットワークちばは、今回の市長選においても、熊谷俊人さんを推薦します。

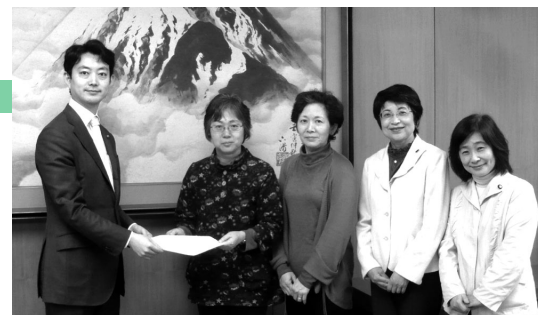
共同代表 山崎邦子、佐々木典子

市長を決めるのは市民です

「市民ネットワークちば」よりの政策提案

1. 市民が主役のまちづくりが可能となるよう、市民自治を育む仕組みをつくること
 - ・市民がまちづくりに関わることを可能にする条例づくり
 - ・NPOが活動しやすい環境を作り、NPOとの対等なパートナーシップによるまちづくり
 - ・市政に参加するボランティアに関しては統一的な基準を設けるなど、参加しやすい仕組みづくり
2. 市職員の意識改革、能力の向上に努め、地方分権を担う意欲に燃えた市役所・区役所を作り上げること
3. 男女共同参画社会を目指し、DV対策を含め、男女共同参画センターが本来の役割を果たすよう改革すること。また女性管理職の登用に努めること
4. 教育行政の中立・公正をまもり、財政的支援をすすめること
5. こども・若者総合相談センター(LINK)の機能を充実させるなどし、ニート・ひきこもりなどの若者支援をすすめること
6. 太陽光発電のみならず、太陽熱・地熱など、エネルギーの地産地消に努めること。またさらなるLED照明の導入など省エネ対策を充実させること

7. 後継者や新規就農者、有機農業者への支援を充実させ、新たな農業の担い



4月4日、市長に政策提案書を手渡しました

- 手育てること。市民農園の活用など、市民の農業への関心を深めたり、参加する仕組みを作ること
8. 減災対策の一環として、高齢者や障がい者など多様な視点を取り入れた防災対策を確立すること
9. 放射能対策に関しては、市民からの不安の声に応え、継続的な調査や健康状態の把握に努めること。また防災計画をもとに、原発事故対策に取り組むこと
10. 生物多様性保全の視点からも、谷津田・里山の保全に重点的に取り組むこと。また市街地における街路樹は、まちづくりの一環として重要性を認識し整備していくこと
11. 区ごとのごみ処理のあり方を市民とともに検討するなど、脱焼却・脱埋め立てのごみ行政をさらにすすめること
12. 市民に税金の用途が明確になるよう、予算の使われ方の公表方法を、より分かりやすいものとする。また予算編成過程に市民の意見を反映させる仕組みをつくること